

9月の夜空をゴールドに～世界的な小児がん啓発キャンペーン～

Global Gold September Campaign

ゴールドセプテンバーキャンペーン

9月 日本全国66か所でライトアップ展開！ 9月9日啓発イベント

主催：NPO法人日本小児がん研究グループ



Global Gold September Campaign (通称：ゴールドセプテンバーキャンペーン) とは…

「Global Gold September Campaign (ゴールドセプテンバーキャンペーン)」は、毎年9月に各国それぞれの地域を象徴する建物や遺跡・橋・自然資産などを金色(小児がん支援のテーマカラー)にライトアップし、小児がん治療の重要性を啓発するとともに、子どもたちに必要な医療や研究に「光を照らす」イベントです。小児がんの患者さんとその両親、小児がん経験者の強い思いによって始まり、今では世界中で広く支持される一大キャンペーンとなりました。

日本でも、この9月にゴールドセプテンバーキャンペーンを開催します。北海道から沖縄まで66か所(8月24日現在)のライトアップを予定しており、9月9日には名古屋と神奈川をメインにオンラインにて復学支援をテーマとしたトークセッションと、ライトアップカウントダウンや各地のライトアップ紹介・中継を行います。

このキャンペーンは、国内では2021年に15か所のライトアップで始まり、「あたたかいゴールドが希望の光となる」と患者さんらの反響も大きく、昨年38か所、2023年の今年は66か所と着実にひろがっています。

小児がんには子ども特有の支援や理解が必要ですが、乳がんのピンクなどと比べてもゴールドの認知度はまだ低く、報道各社の皆様には取材と報道をぜひよろしくお願い申し上げます。

2023年9月 日本各地のライトアップ予定 全国 65か所

Global Gold September Campaign  
ゴールドセプテンバーキャンペーン  
2023年ライトアップ予定

①北海道：さっぽろテレビ塔 9/29  
②青森：弘前城 9/23  
③宮城：仙台スカイキャンドル 9/4～10  
④福島：東北電力福島支店電波塔 9/8～10  
⑤埼玉：さいたまスーパーアリーナ 9/11  
⑥千葉：千葉ポートタワー 9/3～9  
⑦東京：東京都立小児総合医療センター 9/8～14  
⑧東京：東京スカイツリー 9/9  
⑨東京：隅田川花火 9/24  
⑩神奈川：神奈川県庁舎 9/4～9  
⑪神奈川：横浜市庁舎 9/4～9  
⑫神奈川：マリントワー 9/4～9  
⑬神奈川：横浜コスモワールド大観覧車「コスモクロック21」  
⑭神奈川：横浜ハンマーヘッド  
⑮神奈川：象の鼻パーク  
⑯神奈川：アニヴェルセルみなとみらい横浜  
⑰神奈川：女神橋 9/4～8  
⑱神奈川：聖セゼフ学園高等学校 (学園祭のブース) 9/17～18  
⑲神奈川：横浜こどもホスピス うみとそらのおうち 9/9  
⑳神奈川：小田原城 9/2～4  
㉑神奈川：松田山ハーフガーデン 9/9  
㉒神奈川：神奈川県立こども医療センター 9/8～14  
㉓神奈川：平塚駅南口広場人魚噴水公園  
㉔神奈川：江の島シーキャンドル

⑩新潟：佐渡金山北沢浮遊遊覧船 9/9～15  
⑪長野：松本城 9/9～10  
⑫長野：善光寺 9/9～10  
⑬福井：丸岡城 9/1～10  
⑭滋賀：彦根城 9/9～11  
⑮京都：東寺 9/1～30  
⑯京都：海蔵 9/10  
⑰大阪：大阪城 9/9  
⑱大阪：太陽の塔 9/1～3  
㉑大阪：中之島LOVE CENTRAL (期間限定)  
㉒大阪：阪神高速道路橋脚 9/9～11  
㉓大阪：天保山大観覧車 9/30  
㉔大阪：一心寺シアター 9/2  
㉕兵庫：神戸市庁舎 9/16～17  
㉖兵庫：県立小田高校 日程調整中  
⑰愛知：中部電力MIRAI TOWER 9/9  
⑱愛知：オアシス21 水の宇宙船 9/9  
⑲愛媛：愛媛県庁 9/6～12  
㉑愛媛：大洲城 9/8～9  
㉒愛媛：石手寺 9/4～10  
㉓愛媛：愛媛大学医学部附属病院 9/8～9  
㉔愛媛：松山市総合福祉センター 9/8～9  
㉕香川：高松シンボルタワー 9/6～10

⑩広島：広島城 9/7～13  
⑪鳥取：出雲大社 9/9  
⑫鳥取：白鷺崎灯台 9/9  
⑬鳥取：松江城 9/9～10  
⑭岩手：磐梯山立山  
⑮東洋館アークス 9/9～10  
⑯長崎：稲佐山山頂 電波塔 9/9～9/11  
⑰福岡：小倉城 9/1～10  
⑱福岡：北九州モリール 9/1～9  
㉑福岡：赤煉瓦文化館 9/1～21  
㉒福岡：福岡市総合体育館 9/1～21  
㉓福岡：博多ポートタワー 9/1～21  
㉔佐賀：佐賀メディカルセンタービル 9/9  
㉕鹿児島：観覧車「アミュラン」 9/9～10

⑩沖縄：沖縄こどもホスピス予定地

※追加情報  
㉑埼玉：埼玉スタジアム2002 9/25  
㉒岡山：岡山城 9/16  
㉓徳島：徳島県庁舎 日程調整中  
㉔山口：海峡ゆめタワー 9/9  
㉕神奈川：秦野市戸川公園 日程調整中

⑬～⑱ かなとみらい 21地区 9/4～9

日程調整中

※その他、ライトアップを調整中の施設もあります。※電力需給ひっ迫などの緊急時には、予定変更の可能性あります。

## 「Global Gold September Campaign 2023」開催概要



1. 名称：Global Gold September Campaign 2023（ゴールドセプテンバーキャンペーン）
2. テーマ：「小児がんを知ることにつながろう  
～社会みんなで手を取りあって、がんと闘う子どもたち・家族の未来が輝くように～」
3. 期間：2023年9月1日～30日
4. メインイベント日時：2023年9月9日(土) 18:00～(オンライン 中継基地:愛知と神奈川)
5. 内容：小児がんの啓発カラーゴールドのライトアップを中心にした小児がんに関する啓発活動  
(各地で「Smile Action」と題した啓発活動を展開予定)



6. 主催：特定非営利活動法人 日本小児がん研究グループ(JCCG)  
メインイベント共催：特定非営利活動法人 ふくぶくぼーん  
：一般社団法人 旭くん光のプロジェクト  
運営：Global Gold September Campaign 推進委員会

### 7. 目的： 【小児がんの社会啓発】

小児がんが子どもの健康と生命にとって非常に重要な問題であるということを理解していただくことが第一の目的です。子どもにもがんがあることはあまり知られていませんが、白血病や脳腫瘍などの小児がんは10～14歳の子どもの死因の第1位です。まだ救えない命を救うための治療の開発や、治療を終えた子どもがその先の長い未来を安心して健康に過ごせるようなサポート体制の確立など、課題は山積しています。

小児がんは成人がんとは異なり、ほとんどは原因が不明で予防方法がありません。生活習慣病などが原因となったり、早期検診が早期発見につながったりする成人がんとは事情が異なります。

また、小児がんの治療は厳しく長いことが多く、子どもたちや家族、医療従事者らには、なかなか社会的な声をあげる余裕がありません。そのため、乳がんのピンクリボンキャンペーンのような大きな啓発が進んでいない現状です。小児がんが生命予後や治療後の後遺症なども病気として重いことや、小児ならではのさまざまなサポートが必要とされていることを世の中に広く知っていただきたいと考えています。

### 【小児がんの患者さんやご家族、医療従事者らに希望やぬくもりを】

小児がんの年間の新たな発症は約2000～2500人です。また、小児がんの種類は大変多いため、疾患のそれぞれは超希少がんと言えます。全国のさまざまな地で珍しい疾患を治療することになる子どもたちやご家族は、孤独を感じがちです。また、面会等も制限されるケースが多く、ますます寂しさを抱えています。世界中で灯されるゴールドの明かりは、今小児がん向き合っている子どもたち、強い治療を乗り越えた子どもたち、そのご家族や医療従事者らの励ましとなるはずです。

### 【世界保健機構(WHO) 小児がんグローバルイニシアチブの推進】

WHOは2018年9月に「2030年までに世界中でがんと診断された子どもたちの、少なくとも60%の生存を達成すること」を目標とする「WHO 小児がんグローバルイニシアチブ」を発表しました。世界レベルでの意識向上を通じて小児がんの優先順位を上げ、小児がんの最善の治療を提供する能力を拡大し、小児がんの治療率が今の約2倍になり、今後10年間でさらに100万人の子どもたちの命が救われることを目指しています。

ゴールドセプテンバーキャンペーンはこのイニシアチブを大きく後押しするイベントのひとつです。

### 8. ライトアップ予定施設と日程

P1の図をご覧ください。

(電力需給ひっ迫などさまざまな理由で予定変更の可能性があります。)





## アウェアネスリボン Awareness Ribbon (気づき・認識のリボン) とは

社会問題や難病に対して、世界で統一した色のリボンを身につけることで、啓発したり支援の姿勢を示したりします。

### ピンクリボン



乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるシンボル

### レッドリボン



エイズに偏見を持たず、患者を差別しないというメッセージのシンボル

### ゴールドリボン



小児がんへの関心・理解・支援の呼びかけを行うためのシンボル



## 小児がん支援のシンボルカラーが「ゴールド」になった理由

金（きん）は貴重な金属であるため、がんに立ち向かい、厳しい治療を頑張っている子どもたちは金のように貴重な宝物だとの思いから「ゴールド」がシンボル色になりました。「ゴールド」には、小児がんと向き合っている子どもたちと、彼らに必要な医療・ケアと研究に、「輝かしい光を当てる」という意味もこめられています。



## 日本でも「世界小児がん啓発キャンペーン」を



希少がんである小児がんの治療には、世界的な協力も欠かせません。国際的なこのキャンペーンに、国際小児がん学会（SIOP）からJCCGへの参加呼びかけがありました。JCCGも世界と連携し、小児がんの啓発を推進していく予定です。



### ※日本小児がん研究グループ（JCCG）とは



日本小児がん研究グループ（JCCG：Japan Children's Cancer Group）は、子どものがんを治そうと、専門医など小児がんにかかわる医療従事者が結集したグループです。子どもたちのために、病院や地域の枠を越え、オールジャパンで治療の研究・開発に取り組んでいます。小児がんの子どもたちを治療する全国の病院ほぼすべて（約200施設）がJCCGに参加しています。

JCCG HP <http://jccg.jp/>

JCCG HP QRコード



### ※小児がんとは

小児がんは、白血病や脳腫瘍など、子どもがかかるがんの総称です。大人のがんとは種類も、必要なケアも大きく異なります。日本では、年間2,000人～2,500人の子どもたちが小児がんと診断されています。15歳未満の1万人に1～1.5人という「珍しい疾患」ですが、5歳以上の子どもの病死原因では第1位を占める「命を脅かす難病」です。

※小児がん情報サービス [https://ganjoho.jp/child/dia\\_tre/about\\_childhood/about\\_childhood.html](https://ganjoho.jp/child/dia_tre/about_childhood/about_childhood.html)

**新型コロナウイルスのまん延により**、小児がんなどの難病で治療・入院中の子どもたちは一層の不安や寂しさを抱える状況です。ただでさえ厳しい闘病ですが、感染症を予防するために大好きな家族との面会時間が制限されたり、外泊も難しくなったりしています。入院していない小児がんの子どもたちも、免疫力が低くなりがちのため、感染を警戒しています。JCCG 所属メンバー医療従事者は、全力で病気の子どものたちを支えたいと考えています。

## 世界のライトアップ例



オーストラリア



アイルランド



スペイン



アメリカ合衆国

※参照資料あり ゴールドセプテンバーキャンペーン 2023 チラシ(裏表)

～お問い合わせ先～

### ※窓口

・JCCG 事務局広報室 加藤 希

【電話】070-1345-1014 【Mail】office-tokyo@jccg.jp

### ※小児がん医療の現場等専門的なこと

・JCCG 企画広報委員長、国立成育医療研究センター小児がんセンター長 松本 公一(きみかず)

【電話】03-3416-0181 【Mail】matsumoto-kmk@ncchd.go.jp

